

ぼくは新潟で一番おいしいものはお米だと思います。これからもおいしい米作りを続けていくためにはどうすればいいか考えてみました。

ぼくの家周りには田んぼがあります。特に弥彦山と角田山のふもとには広大な田んぼが広がっています。でも最近では田んぼをつぶして、駅や住宅地などができている場所もあります。便利になるのはいいけれど、むやみやたらに開発するのはいけないと思います。みんなが新潟の米作りに自信をもって、米作りのことを考えながら開発を進めていくことが、とても大切だと思います。

もう一つ大切なことは、米を作る人がいなくなるということだと思います。社会の授業のときに、農家のあとつぎが減っていると教わりました。ぼくも農家の仕事は体が痛くなるし、毎日早起きしなければいけないので、大変だと思います。けどおいしいお米を作るのはとてもすごい仕事だと思います。だから一人でも多くの人が米作りをやってくれればいいと思います。ぼくは毎日おいしく大切にお米を食べていきたいです。

おいしい米作りにはきれいな水が必要です。田んぼの周りにたくさんの木があってこそ、きれいな水が生まれます。だから森林はかいを大量に行ってはいけないと思います。

便利に生活するためには、開発を止めることは出来ないけれど、みんなが米作りのための環境のことをいつも考えていることが大切だと思います。ぼくも近くに田んぼがあってもあまり興味をもっていませんでした。でもこれからは興味をもっていきたいです。

作る人と食べる人がいっしょになって協力していけば、新潟は日本だけじゃなく、世界のだれもが知っている米の名産地になっていくと思います。